



令和6年度 第9号
令和6年5月13日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

あっという間に4月も5月も駆け抜けていっています5月の学校朝会ではこんなお話をしました。



笑



あっという間に5月の大型連休も終わりました。本荘小学校では今年度から春に戻した運動会の準備に突入しております。大型連休の最中は、事件や事故、病気の報告もなく、子どもたちが無事にすごしてくれたことが校長として何よりもうれしかったことでした。ご家庭のご協力には、いつもながら感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

連休の合間の5月1日に学校朝会がありました。校長講話では、「笑う」ということについて子どもたちに話をさせていただきました。「笑う」ってどんなにいいことなのかを伝えたいつもりです。まず、いくつかの漢字を見せました。「笑」という漢字は、本当に笑っているように思えます。「笑」という漢字は、もともと象形文字です。(裏面へ) 象形文字というのは、なんらかの形を変形させてできた漢字です。山や川、魚などがその代表です。では「笑」は何なのでしょう。調べてみると、「人が踊っている姿」であり、より詳しく言うと、「巫女が両手を上げて首をかたむけて舞っている形」なのだそうです。(裏面へ)



右のような形がもともとだそうです。元々は神を楽しませる為に笑いながら踊っている所作（しぐさ）を表す文字だったようです。今では「笑う」という意味で使われていますが、元々は「喜ばせる」、しかも人間どころか神の為にという高貴な意味を持っていたのです。成り立ちから見ると、意外な事実が見えてくるものです。しかし、上の図のようにこの漢字自体が笑っているように見えるのも事実ですよ。



講話では、「笑う門には福来る」とことばから、「笑う」ことよさ、科学的に証明されているという健康面でのよさなどを取り上げ、コミュニケーションをする際の大切なツールであることを解説しました。私の担任時代の授業での様子も見せています。ギャグとか変なことは言っていないのに、授業中に笑いかけるシーンです。ユーモアにあふれたすばらしい子どもたちと共に過ごした楽しい思い出の1シーンでした。詳しい内容は、「虫眼鏡」に原稿を載せていますので、ご覧ください。

さあ、これから運動会まで待たないなってきます。みんなの笑顔で運動会が大成功するように「笑う」お話をしました。ご家庭でもいっぱい笑ってください。不平不満を言っているよりもはるかに前向きになれるはずですよ。そんなポジティブな子どもを育てていきましょう。(校長)

さあ、これから運動会まで待たないなってきます。みんなの笑顔で運動会が大成功するように「笑う」お話をしました。ご家庭でもいっぱい笑ってください。不平不満を言っているよりもはるかに前向きになれるはずですよ。そんなポジティブな子どもを育てていきましょう。(校長)

校長先生の虫眼鏡「5月学校朝会 笑う門には・・・」

5月の学校朝会の内容です。ご家族でお読みください。

令和6年度 5月 学校朝会 「笑う」

みなさんおはようございます。あつという間に1カ月が過ぎましたね。連休の前半3日間もあつという間に、過ぎ去ってしまいました。さあ、今日から五月です。運動会もあります。暑くもなってきましたね。ですから、みなさんに心がけてほしいことがあるのです。

これを見て、何か思いませんか。まず、これ何かな？はい10年生の〇〇さん。そうなのです、これって、実は漢字なのです。「笑う」という漢字です。他にもありましたよ。漢字なのだけど、皆さんどう思います。そう！楽しそうなのです。この漢字は！！

昔の人は、「笑う門には福来る」という言葉を残しました。いつも笑っている人の家には幸福が訪れるという意味です。これって、日本だけでなく、外国にも同じような言葉があるらしいですよ。興味がある人は調べてみてください。でも、これはね、科学的にも証明されてきたんだそうですよ。笑うとね、ナチュラルキラー細胞というのが癌とかの重い病気をやっつけるのだそうです。免疫力も向上して、体が丈夫になるのだとか。ストレスも減って、脳の動きがよくなる。つまり頭がよくなるのです。病院の先生たちが「笑って病気を吹き飛ばせ」と真剣に患者さんに勧めているのです。この言葉、医学的・科学的にも正しいものであるんだそうですよ。

では、笑うというのはどんなことでしょうかね。辞書を引くと「うれしいときや楽しいときに声を出したり、顔の表情をやわらげたりすること」なのだそうです。地球上にはたくさんの動物がいますが、笑うことができるのは人間だけのようです。人間が進化をしていく中で、受け継がれてきた、生きていくための特技ともいえます。人は一人では生きられません。家族や学校の仲間、社会の中で生きています。だから、コミュニケーションのツールとして「笑う」ことが生まれたというのです。

みなさん、笑っていますか？人を馬鹿にしたり、ふざけたりするニヤニヤではなく、心から楽しいと思って笑っていますか？何か気に入らないことがあると、すぐに不平、不満を言ったり、悪口を言ったり、人を馬鹿にしたりしていませんか。不平不満ばかり言っているとすぐに顔に出ますよ。鏡を見てくださいね。

校長先生が尊敬する授業の名人有田和正先生は、自分のクラスの子どもたちに、「楽しいから、笑うのではない。笑うから楽しいのだ！！」と子どもたちに教えていたのだそうです。そして、有田先生の学級は、よく笑う楽しいクラスだったそうです。校長先生のクラスもそうでした。ギャグとかおふざけをするから笑うのではなく、みんながいつも笑っているから、毎日が楽しい。そんなクラスでした。

「笑う門には福来る」体や心が病気になるないように、毎日笑顔を大切にしましょう。あいうえお っはっはの「え」は笑顔の学びなので。では、「わっはっは」と笑いましょう。いきますよ！さん っは、わっはっは。

これで運動会も安心です。5月も思いやりの心で笑顔の本庄小にしましょう。